

先着160名限定

第81回 東経夏期情報会

ワクチン接種が進むことで、年末に向けて日本経済も回復に歩み出すとの明るい期待も生じてきました。しかし、長引くコロナ禍で過剰債務となった企業は多く、これから始まる返済への対応など試練の時期を迎えます。恒例の情報会はコロナ禍で2度中止しましたが、おかげさまで81回目となります。第1部ではおなじみの吉崎達彦氏を迎えて、下記2部構成で開催致します。なお、コロナ対策の都合上、お申込み順に先着160名で締切りとさせていただきます。なにとぞご了承下さい。

第1部 「これからの経済動向について」

株式会社双日総合研究所 チーフエコノミスト 吉崎 達彦 氏



吉崎 達彦（よしざき たつひこ）講師プロフィール

米国政治や外交・安全保障論に強いエコノミスト。“日本経済の行方”“当面の内外情勢を読む”“米国大統領選挙の展望”等のテーマで行う講演は好評。著書『気づいたら先頭に立っていた日本経済』（新潮新書）『溜池通信一いかにもこれが経済』（日本経済新聞出版社）など多数。

1960年富山市生まれ。1984年一橋大学社会学部卒業後、日商岩井株式会社入社。広報誌『トレードピア』編集長、米ブルッキングス研究所客員研究員、経済同友会代表幹事秘書・調査役などを経て企業エコノミストに。日商岩井とニチメンの合併を機に2004年から現職。関心領域は日本経済、米国政治、外交・安全保障論など。大阪経済大学客員教授、一般財団法人国際開発センター理事、NPO法人岡崎研究所理事、テレビ東京「モーニングサテライト」、文化放送「くにまるジャパン極」コメンテーターなどを務める。ウェブサイト『溜池通信』を主宰。フジサンケイグループから第14回「正論」新風賞受賞。

第2部 「注目企業300社の解明」

マスコミでは“危ない300社”として取り上げられ、与信管理担当者のみならず関心を集めています。東京経済が情報を収集した、様々な問題を抱える企業群から注目すべき300社を実名でリストアップし、問題点を簡潔かつ生々しく解説していきます。

“暴排条例に絡む気になる企業”的おまけ付きです。



▶ 日 時 令和3年 9月7日 火 (開演13:00~16:30) ※開場12:00

▶ 会 場 東京証券会館8F 証券会館ホール (東京メトロ茅場町駅 8番出口直結)
東京都中央区日本橋茅場町1-5-8 TEL:03-3667-9210
※駐車スペースが少ないため、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

▶ 会 費 10,000円 (※1名: コロナ対策のためなるべくお振込みをお願いします)
※御名刺をご用意ください。

主催／東京経済株式会社 東京支社 代表取締役社長 / 越智 英雄 専務取締役 / 越智 憲雄 取締役東京支社長 / 井出 豪彦
〒104-0045 東京都中央区築地3丁目10番2号(第6東経ビル)

▶ 申込先

東京経済株式会社 東京支社
TEL:03-3544-6611 FAX:03-3544-6600

貴社名

御参加者

ほか 名

御住所

TEL

お支払方法
(〇印なるべくお振込みをお願いします) お振込み・当日現金

▶ メールアドレス tokyoj@tokyo-keizai.co.jp
F A X 番号 03-3544-6600

当用紙をそのままFAX、又はメールに必要事項をご記入の上お申込み下さい 【HP版】